

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです

2018年度後援会会長 就任あいさつ



法政大学後援会会長 小澤 徳

後援会の皆さまには平素より後援会活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。
6月2日(土)に開催された法政大学後援会総会にて2018年度会長に推挙され、1年間皆さまと共に学生と大学の支援のお手伝いをさせていただきますこととなりました。伝統ある後援会の運営に携わることになり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

法政大学後援会は、1947年に「大学の教育方針に則り、大学と学生家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る」ことを目的に設立されました。現在では首都圏および北海道から沖縄までの全国36支部に父母・保護者の会員約2万8000人を有する組織となり、昨年は設立70周年の大きな節目を迎えることができました。

法政大学は、社会の急激な進展と要求に対応し、長期ビジョン「HOSEI2030」を策定しました。そのアクション・プランもいよいよ実

行政階に移ろうとしている中、後援会は大学の要請に応え、学生生活をより豊かにするため、大学への設備や備品の寄贈、体育会やサークル活動への補助、奨学金や資格講座への助成など、学生および大学への財政的な支援活動を行ってまいります。

会員の皆さまへは「新人生父母の集い」や「父母懇談会」などの行事開催に加え、広報誌『法政』や後援会ウェブサイトを通じて、さまざまな情報を発信していきます。これらの活動すべてに会員から選出された役員のボランティア活動により支えられるものです。

後援会活動の源泉は、子どもを思う純粋な親心だと思えます。先人が築き、守り続けてきた理念を受け継ぐとともに、「学生と大学の一番の応援団」として活動し、支援していきます。

会員の皆さまには、これからも後援会活動へのご理解・協力をよろしくお願い申し上げます。

会長退任にあたって



2017年度会長 中和 夫

法政大学後援会会員の皆さまには、平素より後援会活動に対し、ご理解、ご協力、ご支援を賜り、ここにあつく御礼申し上げます。6月2日(土)に市ヶ谷キャンパス薩摩ホールにて開催された「法政大学後援会総会」におきまして、2017年度の後援会会長の任期を終え、小澤徳新会長にオレンジ色のたすきを無事につなぐことができました。

会長在任中で一番の思い出は、何と云っても、全国の支部長ならびに首都圏の役員の方々と力を合わせて成し遂げた「法政大学後援会設立70周年事業」です。準備期間に約1年半を要したこの事業は、昭和22年に設立された後援会設立時の父母の方々のご苦労を振り返る原点回帰の良き場でもありました。

今後の後援会是小澤新会長を中心に、今まで以上に学生たちが楽しく、明るく、実り多きキャンパスライフが送れるように、これからも3キャンパスの環境整備や海外留学への助成、図書館の充実などに力を注いでいただけることを期待しています。

そして、桑野秀光会長を中心に世界中の卒業生で構成されている「法政大学校友会」の皆さまと協力し合い、学生ならびに大学を支える大きな柱として、その幹を太くしていただけることを心より願っています。

最後になりますが、1年間の会長職を支えて

くださいました後援会事務局の志田成也局長、小林正仁さん、濱武千恵さん、小菅幸子さん、林里子さんならびに、卒業生後援会連携室の松丸伊三郎部長、そして通信教育部の小須田博司部長には、本当に感謝しております。ありがとうございます！

写真でみる中会長の1年間



1 2017年6月3日(土) 2017年度総会 2 2017年6月3日(土) 総会後、新運営委員との集合写真 3 2017年6月29日(木) 常任参与との懇談会
4 2017年8月27日(日) 群馬県支部総会・父母懇談会 5 2017年11月10日(金) 支部長懇談会 6 2017年11月11日(土) 70周年記念式典
7 2017年11月29日(水) 総長学内理事・後援会懇談会 8 2018年1月27日(土) 公認会計士試験合格祝賀会(後援会賞授与) 9 2018年5月19日(土) 幹事会 10 2018年6月2日(土) 2018年度総会終了後、小澤会長に次を託し握手を交わす

■ 後援会ウェブサイトのご案内 <http://www.hosei-koenkai.org/>

法政大学のウェブサイトを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。ぜひ一度ご覧になってみてください。



2018年度 法政大学後援会の主な年間行事

月日	曜日	行事	内容
4月3日	火	入学式	大学行事。日本武道館にて開催
5月19日	土	幹事会	後援会の役員会。決算案、予算案などを審議
		支部長会議	支部総会・父母懇談会の打ち合わせ
6月2日	土	後援会総会	事業報告・決算報告、事業計画・予算案ほかを審議
		懇親会	大学主催の懇親会
7月~8月	土・日	支部総会・父母懇談会・懇親会	詳細は本誌4月号、5月号、後援会ウェブサイトに掲載
10月7日	日	首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス)	法、文、経営、国際文化、人間環境、キャリアデザイン、デザイン工、グローバル教養学部の1~3年の父母・保証人対象
10月14日	日	首都圏父母懇談会(小金井キャンパス)	理工、生命科、情報科学部の1~3年の父母・保証人対象
10月20日	土	支部総会・父母懇談会(多摩キャンパス)	経済、社会、現代福祉、スポーツ健康学部の1~3年の父母・保証人対象。大学祭(多摩祭)と同日開催
11月10日	土	支部長会議	支部総会・父母懇談会の報告
		副学長・学部長・学生センター長、後援会懇談会	会員から寄せられた質問に副学長・学部長・学生センター長が回答
2019年3月2日	土	幹事会	後援会の役員会。暫定予算などを審議
		後援会賞表彰	難関試験を突破した学生などを後援会が表彰
3月24日	日	学位授与式	大学行事。日本武道館にて開催
		外国人留学生表彰	国際交流に尽力した留学生を後援会が表彰

新入生父母の集いを終えて



鳥取・島根県支部長

名越あけみ (謙太郎 / 経営学部)

青葉若葉の季節を迎えた5月12日(土)、鳥取・島根県支部の新入生父母の集いを開催しました。開催場所の鳥取県の倉吉市には、新入生のご家庭が両県1家庭ずつ参加されました。新入生は6人でしたから3分の1の参加率です。

大学からは、7回目の支部訪問となるグローバル教育センターの持田理子主任が出席されました。持田主任との久しぶりの再会に役員たちも話はずいぶん和やかな雰囲気での会が始まりました。



薬膳弁当の

支部長として初めて開く公式な会で緊張していた私も、主任のおかげでリラックスでき、とてもありがたいと思いました。会場には、BGMに法政大学の歌を流して、校旗と横断幕を飾り、とても後援会らしい雰囲気となりました。

屋敷後は、新入生父母の質問や不安に答える時間を多く設けました。役員の話が、新入生父母の不安を少しでも和らげていければ、集いの役割を果たせたと思っています。その中で、後援会とはなんぞや、という質問がありました。私たちが学生の頃は後援会に馴染みがなかったので、当然の疑問ですね。支部役員からは「後援会活動を通して、他では聞かれない方たちと知り合いになれたことがよかった」「子どもの母校は我が母校」がすっかり身に付いてしまった「子どものためというより親のつながりをつくる会だ」などの返答の声が上がりました。皆さまなら、どうお答えになりますか？



の歌を流して、校旗と横断幕を飾り、とても後援会らしい雰囲気となりました。

沖縄県支部新入生父母の集い開催報告



沖縄県支部長

宮里真弓 (遼大 / 社会学部)

5月19日(土)、沖縄県支部は那覇市内のANAクラウンプラザホテル沖縄ハービービューにて「新入生父母の集い」を開催しました。本年度の沖縄県からの入学者は24人、12世帯15人の父母に出席していただきました。

法政大学からは、研究開発センターサステイナビリティ実践知研究機構事務課の倉本英治氏と学務部学務課の山本洋輔氏が出席し、学生生活の過ごし方や注意点、履修の注意点などを、大変分かりやすく説明してくださいました。ごに相談してよいか分からないときには自分たちに声を掛けてほしい」とのコメントをいただき、一人一人に声を掛けていただいたので、遠く離れた沖縄県でも安心できると同時に、法政大学に対する親近感を得られたと思います。

沖縄県支部は、役員会などで情報交換をしながら、「子どもの母校は我が母校」を合言葉に学生と大学を支援する一歩の応援団として、充実した学生生活を送ることができるよう応援していきたいと思っています。



法政大学後援会

昼食を囲んだ懇談会では、同じキャンパスの先輩父母の話聞き、とても和やかな楽しい時間になりました。毎年実施している現役大学生を招いての学生生活体験発表は、一人暮らしやアルバイト、勉強、ホームシックになったことなど、学生からの生の声を聞くことができ、安心できた様子でした。

東京六大学野球春季リーグ戦応援記 〜神宮球場へ行こう〜



佐藤利美 (健志朗 / 国際文化学部)

4月28日(土)に開催された法政大学vs慶應義塾大学戦は、澄み切った青空の下、絶好の野球観戦日和となりました。この日は、HSC(法政スポーツコミュニティ)と後援会が共催した応援日でした。さらに、学生センター1課外教養プログラム(法政大学後援会補助事業)からの呼び掛けもあり、明治神宮野球場(神宮球場)の一塁側スタンドはオレンジ色に染まり、一丸となった熱こもった応援を繰り上げました。

先発の菅野秀哉投手(キャリアデブイン学部4年)が好投を見せる中、3回に主将の向山基生外野手(経営学部4年)の出塁をきっかけに打線が爆発!一挙に3点を奪う猛攻に、オレンジ軍団も沸き上がりました。法政の選手がヒットを打つ度に観客席から立ち上がり、点を取ると知らない方とも肩を組んで、校歌を熱唱し



ていました。野球の応援に来るといつも感動するのですが、応援団の存在です。彼らはカンカン照りつける太陽の下でも、小雨降る中でも、どんなに試合が劣勢のときにも、明るく元気に選手たちを勇気付け、応援する私たちを盛り上げてくれます。その統率のとれた清々しいまでの頑張りに、私たち大人も引きつけられ、最後の一球まで諦めず共に選手たちを応援しようと思気込みます。もちろん、勝利のときは共に歓喜を分かち合います。他校とのエール交換も見ものです!



野球の応援に来るといつも感動するのですが、応援団の存在です。彼らはカンカン照りつける太陽の下でも、小雨降る中でも、どんなに試合が劣勢のときにも、明るく元気に選手たちを勇気付け、応援する私たちを盛り上げてくれます。その統率のとれた清々しいまでの頑張りに、私たち大人も引きつけられ、最後の一球まで諦めず共に選手たちを応援しようと思気込みます。もちろん、勝利のときは共に歓喜を分かち合います。他校とのエール交換も見ものです!

この日は惜しくも敗れましたが、先日4番の中山翔太内野手が、リーグ史上8人目のサイクル安打を達成しました。今年度のスロウガンどおり「結束」して、野球部と応援団を応援しに神宮球場へ行きましょう!きっとそこには感動が待っています!

フエンシング部応援



魚躬有理 (裕介 / 法学部)

1935年に創部されたフエンシング部は、今年で83年目となります。長い歴史と伝統ある部の一員として息子が活動していることは大変うれしく、ご指導くださる皆さまに深く感謝しています。

5月に開催された「関東学生フエンシング連盟リーグ戦」では、男子フルールと男子エベで優勝、男子サーブルは3位となり、総合優勝を飾りました。さらに女子フルール5位、女子エベ3位、女子サーブル3位と、非常に素晴らしい成績を取め、関東インカレやインカレでのさらなる活躍が楽しみです。



息子とフエンシングの出合いは、法政OBである夫との遊びの延長から始まりました。当初、本人はサッカーへの興味が強く、3歳から中学卒業まではサッカーばかり。法政大学第二高校に入学してフエンシング



部へ入部したときは、家族みんなが大変驚きました。なかなか結果は伴いませんが、大学でも続けてコツコツと努力をする姿に、親として今後も見守りながら応援していきたいです。

フエンシングは、動きが速く、見ていてルールが分かりにくいといわれますが、目の前で見るとその迫力に圧倒され、とても魅了される競技です。繊細な駆け引きで緊迫感あふれる試合を、機会がございましたら、ぜひ皆さまもご覧くださいます。

最後になりますが、宗像秀憲監督をはじめ、コーチの皆さま、OB・OGの皆さま、部長先生には日々ご指導を賜り、厚く感謝申し上げます。後援会ならびに大学関係者の皆さまにもご支援を賜り、御礼申し上げます。多くの部員が2年後の東京オリンピック出場を目指し、日々鍛錬しています。今後とも、さらなる熱い応援をよろしくお願いたします。